

第912回

定例教育委員会会議録

日 時 令和5年5月30日（火）15:00～

場 所 益田市役所第一会議室

益田市教育委員会

第912回 教育委員会定例会

招集年月日 令和5年5月30日（火）15：00～

招集場所 益田市役所第一会議室

議事日程

第1 会議録の承認について

第2 教育長報告

第3 議題

報第14号 令和5年度益田地区教科用図書採択の流れについて

報第15号 史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について

報第16号 共同研究「16世紀西日本港町の構造と相関」への参加について

報第17号 益田市教育審議会委員の任命について

第4 その他

(1) 協議

令和5年度（令和4年度事業分）益田市教育委員会点検・評価報告書について

(2) 情報提供

「石見の古墳VS出雲の古墳」の開催について

(3) その他

出席者

| | | |
|-------|---------|---------|
| 教育委員会 | 教 育 長 | 高 市 和 則 |
| | 教 育 委 員 | 梅 津 富美子 |
| | 教 育 委 員 | 大 庭 隆 志 |
| | 教 育 委 員 | 齋 藤 哲 瑯 |
| | 教 育 委 員 | 原 田 笑 |

| | | |
|-------|-----------------|---------|
| 事務局職員 | 教 育 部 長 | 長 嶺 勝 良 |
| | 教 育 総 務 課 長 | 志 田 原 涉 |
| | 学 校 教 育 課 長 | 田 原 正 紀 |
| | 協働のひとづくり推進課長 | 岡 崎 健 次 |
| | 文 化 財 課 | 山 本 浩 之 |
| | 学 校 教 育 課 参 事 | 杉 原 貴 宏 |
| | 教 育 総 務 課 長 補 佐 | 齋 藤 勝 義 |
| | 教 育 総 務 課 主 事 | 三 浦 菜々子 |

高市教育長 ただいまより第912回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
 それでは、議事に入らせていただきます。

第1 会議録の承認

高市教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第2 教育長報告

高市教育長 次に進みまして、第2の教育長報告でございます。前回の教育委員会からの活動状況です。

5月9日でございます。陶山勝先生が春の叙勲で瑞宝双光章を受章されたということで、お祝いに伺ってまいりました。陶山先生は、ご存じのように、平成15年から平成20年の間、益田市の教育長をしていただいております。初任が昭和47年、旧匹見町の匹見中学校で勤められてから、音楽の教育にずっとご尽力をいただいていた先生でございます。退職をされた後、先ほどご紹介いたしましたとおり、平成15年から平成20年まで益田市の教育長をしていただいております。いまもお元気で、いろいろと活動をしていただいております。ここ最近は新型コロナウイルスの感染症の関係もございまして、なかなか叙勲の授賞式に出るのが難しく、こちらでお渡しをするということが多かったのですが、今回からは皇居のほうで授賞式が開かれ、実際に陶山先生も東京に行って受賞を受けられたということを伺っております。そういった形で、引き続き教育に関して非常に関心と情熱をお持ちだということですので、またいろいろなお世話になればいいなと思った次第でございます。

続きまして、5月11日でございます。こちら、交通安全のキャンペーンということで、街頭で交通安全の活動をしてまいりました。

続きまして、5月14日でございます。柿本人麿没後1300年祭実行委員会に出席をしてまいりました。今年、柿本人麻呂公が亡くなられてから1,300年になるということで、関係している神社でもお祭りが行われています。今回は民間を主導に実行委員会が組織されて、そういった神社等、宗教と関係がないところですが、まちが誇る偉人のお一人だということで、お祝いの会に出席をしてまいりました。

続きまして、5月17日から20日でございます。北海道の帯広

市に出張してまいりました。出張内容は、全国都市教育長協議会の定例会が開かれるということでございます。こちら、全国の区、市の教育長によって組織をされる協議会でございます、そちらの全国大会ということで行ってまいりました。そのときに全体での発表が当番で当たっておりまして、発表をしてまいりました。発表の内容としては、教育行財政と学校教育と生涯教育という大きく3つの分類がございますけれども、私が当番として当たったのが教育行財政という分野でございます。そちらの分野の対象としているのが、いわゆる学校の適正規模、適正配置、あとは学校の教育環境をどう整備していくのか、あとは貧困家庭の支援とか、あとは学校施設をどうやって維持管理をしていくのかというようなことが対象となっている区分でございました。その中で、我が市の事例を紹介するというので、大きく2つの紹介をしてまいりました。1つが、真砂の複合施設のこと。また、もう一件は匹見小・中学校で、小・中学校同一校舎で学校が運営をされているということです。一つ我が市において特徴的な取組で、全国的にも参考の一助となるだろうという点で発表をしてきたところでございます。こちらに関しては、なかなか私の発表がうまくなかったのか質問等があまり出ず、盛り上がりなかったのですけれども、今後そういった発表等をきっかけにして、我が市のほうにも実際に視察等に来ていただければ有り難いと思っている次第でございます。

続きまして、23日でございます。こちら、教科書採択選定委員会が開かれました。この件に関わりまして、後ほど事務局から報告をさせていただきますけれども、来年度、小学校の教科書が新しい教科書に置き換わるということで、それに関する採択作業等々が進んでいくことになっています。それに関係したこととして、最初のキックオフという形ですけれども、委員会を開催したところでございます。

私からの報告は以上でございます。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

＝全員了承＝

教育委員

第3 議題

○報第14号 令和5年度益田地区教科用図書採択の流れについて

高市教育長

本日は、4件の報告案件がございます。

まず初めに報第14号令和5年度益田地区教科用図書採択の流れについてから進めさせていただければと思います。

田原課長

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

それでは、私からご説明いたします。

先ほどもお話ありましたように、令和6年度から小学校で使用する教科用図書の選定を行うということで、本年度、教科用図書益田採択地区協議会を開催いたしまして、まず全体の流れ等を確認してきたところでございますが、改めましてお手元の資料に沿いまして最終的な選定までの流れをご説明申し上げたいと思います。

教科書選定に当たりましては、最終的には市町村の教育委員会の承認をもちまして決定するというようになっておりますので、これからこの流れに沿いまして進めていきたいと考えております。

本日のところで、全体の流れを教育委員の皆様方にご説明し、ご理解をいただきたいということでございます。

この後、それぞれ調査委員というものを指名しておりますので、それぞれ今、見本が配付されております教科書の調査に入ってくださいまして、調査を集約いたします。その後7月に開催する予定でございます第2回採択協議会で採択協議会として2社の教科書に絞り込むという作業を行います。

その後、6番目の7月の定例教育委員会で、絞り込まれた2社の教科書のうち推薦順位を教育委員会のほうで決定していただくという流れにしております。

その後、7番で再度採択協議会を開催いたしまして、各市町村の教育委員会の推薦順位の状況を踏まえまして、採択協議会としての教科用図書の決定を行います。

それを踏まえまして、最終的に8番目の8月の定例教育委員会で、教科用図書の採択について各市町村教育委員会での承認をいただきまして、それをもって決定をするという流れで考えているところでございます。

この一連の流れを8月30日までに、結果につきましてはそれぞれのホームページで公表するという流れになっておりますので、こういった流れで採択事務を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解をよろしく申し上げます。

高市教育長

ありがとうございました。

教科書の採択につきましては、法律が幾つかございまして、その中で最終的な教科書の決定権は市町村教育委員会が持っていますが、近隣の学校は一定地区において同一の教科書を使うというのが法律で定められているところです。それが協議会の区分となっております。益田市、我が市においては我が市と津和野町と吉賀町で1つの区域をつくっています。その中で、基本的には同一の教科書を使

っていくという考えで進めているところです。ただ、様々な法律が複雑に絡んでいる関係で、最終的には教科書の決定権というのは設置者である市長と教育委員会が持っているのですが、そういったところで採択協議会があったり、市の教育委員会が決定をしたりというところが複雑になっていますが、今後こういう形で進めていくということになってございます。ですので、7月の定例教育委員会の際に向けてと、あとは最終的には8月の定例教育委員会においてというところで、委員の皆様にはいろいろと審査やご議論をいただくこととなります。

あとは、教科書は種目ごとに採択をするということになってございます。この種目と教科というのがまた少し異なっているものでして、種目というのは教科よりもさらに細かい区分になっています。ですので、例えば国語科においては国語の教科書と、あと書写の教科書というのがございますけれども、それぞれで教科書を選んでいくということです。ですので、国語という1つの教科の中に国語という種目と書写という種目があるということで、それぞれにおいて教科書を選んでいくということになるので、実は7月の2社のうちどちらにするかということですが、これ、種目ごとに選んでいかないといけないので、実はこれ、かなりの量になります。ですので、算数とかですと1つの種目ですが、先ほど申し上げた国語だと国語と書写、あとは社会科ですと社会科の教科書と地図という種目もございますので、それぞれで選んでいくということになります。ですので、そういった意味で非常に委員の先生方にご負担をおかけすることになるかと思っておりますけれども、その点は十分時間が取れるような形で先生方に採択をお願いできればと思っています。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

○報第15号 史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱について

高市教育長

続きまして報第15号史跡益田氏城館遺跡群整備検討委員会委員の委嘱についてです。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

山本課長

はい。それでは、私のほうから説明をさせていただきます。

まず、この整備検討委員会につきましては、益田市城館遺跡群の保存、整備、活用に必要な事項について専門的立場から意見を聴取するといったところをもって委嘱をさせてもらっているところでご

ざいまして、2年という更新時期となりましたので、別紙のとおり引き続き委嘱をさせていただくという報告となります。全員で6名となっておりまして、それぞれの分野において非常に著名な先生方というところをお願いしたいと考えております。引き続き2年間という形で対応させていただきたいと思っております。

高市教育長

ありがとうございます。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

○報第16号 共同研究「16世紀西日本港町の構造と相関」への参加について

高市教育長

続きまして報第16号共同研究「16世紀西日本港町の構造と相関」への参加についてです。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

山本課長

はい。引き続き説明させていただきます。

この共同研究、「16世紀西日本港町の構造と相関」という非常に難しいタイトルがついてございますけれども、本年度から一応3年間というところで、文化財課、歴史文化研究センターの中司主任が研究協力者として参加することになりましたので報告をするものです。

別紙の資料をご覧ください。

まず、研究名は先ほど申し上げました。

研究代表者が、東京大学の史料編纂所の准教授の方が代表者となっております。恐らく科研費を申請されて採択された研究となっております。

研究分担者ですとか、また協力者につきましてはご覧になっていただきたいのですが、一番大事なところは目的のところでございます。先ほど申し上げましたけど、16世紀の日本を取り巻く日本海の交易ですとか南蛮貿易の実態解明のため、西日本の港町の構造や相互の関係を文献資料と考古資料から研究していくものでございます。特に益田市域につきましては、中須東原遺跡、西原遺跡、沖手遺跡、今新しいナフコが建っているところがございます。あと中世の今市遺跡などの中世の港湾遺跡群や、また出土品などの考古資料、そして新しく指定をされました華南三彩のつぼですとか、そうした伝世品、そして益田家文書などなど、そうしたものが一応研究の対象になると思われまして。

こちらについても簡単ですが以上です。

高市教育長

ありがとうございます。

教育委員 それでは、この件についてよろしいでしょうか。
=全員了承=

○報第17号 益田市教育審議会委員の任命について

高市教育長 続きまして報第17号益田市教育審議会委員の任命についてです。
それでは、事務局から説明をお願いいたします。

志田原課長 益田市教育審議会の委員さんの変更が発生しましたので、その内容を報告させていただきます。
資料のほうをご覧ください。

この審議会の委員につきましては、先月の教育委員会におきましても1名変更がございましたので報告させていただいたところです。その方につきましては、表の下から3番目の島根県立益田養護学校長の変更がございました。このたびは、2号委員の保護者の代表が、新しい年度になりまして、それぞれ保育所、幼稚園、PTAの代表者が替わりましたので、それに基づいて、ここに書いてある方々にお問い合わせするというものでございます。

以上でございます。

高市教育長 ありがとうございます。

では、本件につきましてご質問、コメント等ございましたらお願いをいたします。

齋藤委員 5号委員の一般公募、女性の参加、応募がないようですが、今まではいらっしやったのですか。

長嶺部長 女性の公募委員はなかったです。

齋藤委員 自主的に声をあげていただかないといけませんからね。

長嶺部長 手を挙げようか悩んでいるという内容の相談は受けたのですが、手は挙げられませんでした。

齋藤委員 ぜひ貴重な存在だから、採用したいですね。

長嶺部長 公募委員の任期が本年度の8月末までなので、また時期が近づきましたら公募をかける予定です。

梅津委員 男性1人、女性1人より、出やすいように性別関係なく2名にするというわけにはいかないのですか。せつかくの枠ですから、できたらそれを生かしたいと思います。

長嶺部長 今、市のほうで様々な審議会で女性参画率を定めていますので、男性の希望者は2名いらっしやったのですが、選考させていただきました。こちらとしては、女性の視点というところも欲しくて、一応男女という募集枠にさせていただいたということです。

梅津委員 分かりました。

高市教育長 ありがとうございます。

教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。
=全員了承=

高市教育長

それでは、以上をもちまして定例会を終わります。
次回は7月27日に定例教育委員会を開催いたします。よろしく
お願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたしま
す。ありがとうございました。

=終了時間 16時30分=